



全国学校体育功労賞を受賞して

熊本市立東町中学校 校長 古賀 義久

この度の名誉ある全国学校体育功労賞の受賞は、大変身に余る光栄な事であり、恐縮に堪えません。これまで長きにわたりご指導とご鞭撻を賜りました皆様方に、心から感謝を申し上げます。

私は、大学卒業後、熊本西高校と人吉高校で高校保健体育講師として勤務を経て、平成4年に松橋町立松橋中学校に教諭として赴任しました。当時は全校生徒1000名の大規模校で、大きな組織環境の中で初任から3年間お世話になり、その間の平成5年には、県中学校体育研究発表大会（宇城大会）の授業者として、県下初の「男女共習」と「学習カードの利用」による選択制授業の発表をさせていただきました。中学校教員としての人生スタートにあたり、当時の宇城郡市中体研・中体連の管理職の先生方や役員の先生方、各学校の保健体育の先生方とともに保健体育授業について深く研鑽ができたことは、私の大きな財産です。

平成7年から天草の倉岳中学校に赴任し、天草郡市中体連の皆様の中体連の考え方や取り組みについてのご指導を受けました。平成16年熊本市立長嶺中学校に赴任した際には、当時の校長先生で県中体連の会長であられた、松本英隆会長に大変お世話になり、翌年には熊本市中体連にお誘い頂き副理事長職を、その後には熊本県中体研副理事長として貴重な経験をさせていただき、平成20年東町中学校へ異動とともに、県中体連理事長を拝命し、平成22年の本県における全国中学校剣道競技（人吉市）・体操競技（熊本市）大会の開催に際しては、県並びに両市教育委員会をはじめ、多くの先生方や関係各位の多大なご協力のもと盛会に開催することができました。その後、県体育保健課指導主事として2年、熊本市スポーツ振興課参事として3年の行政経験で、広い視野と人脈を広げる貴重な経験をさせていただいた後、平成28年4月教頭として錦ヶ丘中学校に赴任しました。しかしながら赴任早々に熊本地震を体験し、大災害における学校管理と運営の厳しさとそのノウハウを学ぶこともできました。また令和2年には東町中学校の校長に就任しましたが、新型コロナによる長期的苦難は、人生の中でも一言では表せない、大きな体験でした。

そして、還暦を迎えた令和5年、県中体連・中体研会長の指名を受け、各郡市中体連の皆様と共に県中体連大会の行事全般はもとより、クラブチームの大会参加など、振り返れば歴史的な大きな踏み出しとなり、多くの課題と決断に向け組織を挙げて皆さんと取り組んでいただいた事は、感謝の念に尽きません。

結びに、確実に変容を見せる学校部活動と学校教育活動保健体育において、全ての保健体育教師がこの事を重く認識し、次代を担う諸先生方と協働しながら取り組んで行かれることを期待しております。そして、県中学校体育連盟・中学校体育研究会の益々の発展と、本県学校体育に関わる全ての先生方のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お礼とさせていただきます。